

平成 27 年度 県北広域振興局 振興施策の進捗状況

重点施策と取り組み内容

1 防災対策の推進

- (1) 地震・津波対策の推進
 - ◆県管理公共土木施設(全体 87 件)他、防災集団移転促進事業関係、林野関係防潮堤復旧・防潮林再生等、被災した施設等の早期復旧・整備
- (2) 洪水・土砂災害対策の推進
 - ◆(河川)馬淵川・安比川他、(砂防)2 か所、(急傾斜地崩壊対策)3 か所
- (3) 防災対策の強化
 - ◆小中高対象津波防災出前講座(上期実績：10 回)

2 地域経済や暮らしを支える社会基盤の整備

- (1) 物流の効率化を支援する道路、港湾の整備
 - ◆一般国道 281 号 案内地区他 10 か所
(主要地方道 二戸五日市線 浄法寺バイパス地区 9/19 供用開始)
- (2) 圏域外の交流拡大を支援する道路の整備
 - ◆一般県道野田長内線 小袖～大尻地区
- (3) 生産性の向上を支える林道の整備
 - ◆安孫・平糠線他 5 か所

3-1 農林水産業の経営体の育成と産地形成【農業】

- (1) 地域農業を担う多様な経営体の育成
 - ◆講演会・先進事例視察等、農業販売額向上のための経営改善計画達成支援
 - ◆就農個別相談、新規就農者への「ループ」塾、牛飼い女子・農業女子支援 等
 - ◆直播栽培等の実証等集落営農組織の経営確立支援
- (2) 農地の効率的利用の促進
 - ◆宇部川地区ほ場整備の推進、畑地かんがい施設整備の普及啓発
- (3) 産地力の強化
 - ◆園芸推進センター(久慈)、市町村園芸サポートセンター(二戸)による技術指導
 - ◆園芸の労力確保に向けた試行モデルの実証等(二戸)
 - ◆野菜(ほうれんそう、きゅうり、トマト、レタス等)・花き(りんどう)・果樹(おうとう、りんご)の生産性向上(規模拡大、単収向上、省力化)促進
 - ◆和牛の分娩間隔短縮に向けた実証
 - ◆酪農乳質改善指導、施設整備支援、外部支援組織の設立・運営支援
- (4) 農畜産物の高付加価値化の推進
 - ◆「県北地域 6 次産業化サポート会議」による 6 次産業化推進支援 等
 - ◆モデル産直の運営改善実証等産直施設の販売額向上支援
 - ◆山ぶどう、雑穀、ブランド果物の商品開発、販路拡大等支援
- (5) 農村環境・地域資源の保全・活用
 - ◆日本型直接支払制度の活用による農村環境の保全活動等拡大の支援

3-2 農林水産業の経営体の育成と産地形成【林業】

- (1) 適切な森林整備と意欲ある経営体の育成
 - ◆各種事業を活用した間伐等の推進、コンテナ苗木による低密度植栽の普及啓発
 - ◆間伐実行指導、森林経営専門家派遣研修等、施業集約化に向けた地域けん引型林業経営体の支援
- (2) 素材の安定供給と加工流通体制の強化
 - ◆高性能林業機械導入支援、地域材利用に向けた研修会 等
 - ◆木質バイオマス利用施設導入支援、需給調整体制整備等
- (3) 特用林産物の生産及び流通・販売体制の強化
 - ◆北いわて木炭産業振興協議会の支援、木炭まつり(10 月) 等
 - ◆乾しいたけ PR 大漁旗等作成(7 月)、スーパー等での販促 PR 等
 - ◆漆林保育作業支援、達人を巡るツアー(9 月)、食堂への漆器貸出し 等

3-3 農林水産業の経営体の育成と産地形成【水産業】

- (1) 生産基盤等の復旧と整備
 - ◆海岸施設等の復旧促進(久慈川漁協大川目第 2 ふ化場(9/30 竣工式))
 - ◆2 漁港、増殖場 1 地区の整備、耐震耐津波調査の実施等
- (2) 水産物生産体制の強化
 - ◆漁業士や担い手グループの活動支援等、地域漁業を担う経営体の育成
 - ◆北の海人養成塾や浜料理の集い等、担い手対策と女性活動支援
 - ◆海産親魚の積極的活用等、秋サケ資源造成に向けた種卵確保対策の支援
 - ◆アサヒ・ウニ、ワカメ・コンブ・ホタテ増養殖対策、マガキ等新規種目の技術開発等
 - ◆カワガサ被害防止、カサガサ観光資源化等、内水面漁業の振興
- (3) 流通・加工体制の再構築と販路拡大
 - ◆魚市場を核とした高度衛生管理計画の策定及び実行支援
 - ◆高鮮度イカや低温管理タコ等、地域水産物ブランド化の推進
 - ◆盛岡・首都圏での「タベルンジャー」活用等による販促 PR、ウニ直売会等産直販売活動の支援
 - ◆カイゼン活動の実行支援(水産加工業者、定置網漁業)

4 着地型観光の展開

- (1) 広域的な情報発信による誘客の促進
 - ◆おんでやあんせ八戸・久慈観光復興キャンペーン in 有楽町(6 月)、函館グルメサーカス(9 月)出展、季別リーフレット発行(年 4 回)、観光復興案内人配置(4 名) 等
 - ◆NEXCO ハイウェイフェスタ(9 月)、ツーリズム EXPO ジャパン 2015(9 月)、ふるさと祭り東京 2016(1 月)出展 等
 - ◆二戸地域ガイドブック「岩手のてっぺん ふしぎ発見 vol. 2」作成(下期)
- (2) 受け入れ態勢の強化及び観光メニューの充実
 - ◆観光コーディネーター配置(広域観光協議会)
 - ◆みちのく潮風トレイルウォーキング(10 月)、トレイル踏破認定制度整備(下期)、体験型教育旅行受入れ拡大支援の「地域交流フォーラム(仮称)」開催(下期)
 - ◆カホア連邦おもてなし講座(2 月)、カホア・エコツーリズムフォーラム(10 月)開催
 - ◆ヒメボタルフェスティバル(7 月)開催支援、ウォーキング in 折爪岳(10 月)、折爪岳星空観察会(10 月) 等
- (3) 観光を担う人材の育成
 - ◆世界遺産橋野高炉跡視察研修(11 月、北いわて広域観光推進協議会)等

5 地域資源を生かした食産業の振興

- (1) 被災事業者の本格復興に向けた支援～各種補助・助成制度の活用促進
 - ◆ものづくり補助・三陸基金・グループ補助申請支援、各種フェア等出展支援
- (2) 事業者の経営課題に応じた支援
 - ◆国体向け土産品開発セミナー、商品力向上プロジェクト商品開発相談会、よろず支援拠点出張個別相談会、商品デザイン相談会開催 等
- (3) 北いわて食材の認知度向上
 - ◆北いわてバイヤーツアー(6 月、下期)、生協フェスタ(5、6、9、10 月)、岩手・名古屋食の交流会出展支援
 - ◆鳥合戦 2 灼熱の陣(8 月)、鶏肉の日キャンペーン(10-11 月) 等
- (4) 食産業を担う人材の育成
 - ◆水産加工事業所カイゼン指導、地域産業若手育成助成事業(二戸) 等
- (5) 安心・安全を支える体制の整備
 - ◆鳥インフルエンザ対策訓練(11 月)

組織の目的・役割

- 「いわて県民計画」に掲げる県北広域振興圏の目指す将来像を実現するための、
 - ① 東日本大震災津波からの本格復興と
 - ② 県北圏域の地域特性を生かした振興

【県北広域振興圏の目指す将来像】

培われた知恵・文化、多様な資源・技術を生かし、八戸圏域等との交流・連携を深めながら、持続的に発展する活力みなぎる地域

基本方針

1 震災からの本格復興

- 防潮堤などの基盤整備や復興まちづくり
- 被災者の生活安定と住宅再建
- 水産業をはじめとした地域産業の再生

2 「いわて県民計画」の着実な推進

- 安全・安心に暮らせるまちづくり
- 地域資源を活かした活力ある産業づくり
- 健康で住みよい地域づくり

3 人口減少対策の推進

- 若年層を中心とした人口の流出防止・定着の促進
- 特に、若者の地元就職・定着支援、若者・女性に魅力ある地域づくりなど、若者・女性の活躍を支援

6 ものづくり産業の振興

- (1) 被災企業の本格操業に向けた支援
 - ◆グループ補助金活用事業者支援、よろず支援拠点出張個別相談会等による被災企業支援
- (2) 企業の経営課題に応じた支援
 - ◆ものづくりネットワークコーディネーター配置、企業訪問、よろず支援拠点出張個別相談会 等
- (3) 地域の特徴的な産業の振興
 - ◆(一社)北いわてアパレル産業振興会設立支援(6月発足)、(学)文化学園と県の連携協定締結(7月) いわてアパレル企業ビジネスマッチングフォーラム in TOKYO(10月) ジャパンクリエイション出展支援(11月)、北いわて学生デザインファッションショー(2月) 等
- (4) ものづくりを担う人材の育成
 - ◆工業高校生技能講習会、小中高生対象企業人講演・事業所見学 等
 - ◆県北ものづくり改善塾による生産性向上等に向けた実践的な人材養成
- (5) 企業誘致の促進
 - ◆誘致企業事業所訪問、県南地区とのものづくり交流会(5月)、北いわてを応援に行こう会(11月)、北いわてを応援する会(1月) 等

7 雇用機会の確保・拡大

- (1) 緊急的な雇用機会の確保
 - ◆震災等対応雇用支援事業、地域人づくり事業による緊急的な雇用機会の確保
- (2) 新たな雇用の場の創出
 - ◆「6(5) 誘致企業の促進」参照(再掲)
- (3) 若年者等の就業支援
 - ◆「6(4) ものづくりを担う人材の育成」参照(再掲)
 - ◆地域ジョブカフェを拠点とした高校生の地元企業への就職や若年求職者の就職活動支援(求職者就職支援、若年者職場定着支援、学校支援 等)

8 地域における医療と健康づくりの推進

- (1) 被災住民への健康支援と医療体制の構築
 - ◆精神科医師による家庭訪問
 - ◆個別訪問栄養相談、保育園児と被災者の適塩ほっこり教室
 - ◆災害医療コーディネーター委嘱(久慈・二戸各2名)
- (2) 医療連携の推進
 - ◆北三陸塾、カシオペア地域医療福祉連携研究会への支援
 - ◆中高生等対象の医療従事者確保支援(出前講座、医療現場体験会、進学セミナーへの対応、看護学生の受入れ等)
- (3) 自殺対策の推進
 - ◆ゲートキーパー・傾聴ボランティア養成研修、こころの相談、うつスクリーニング研修、事業所経営者等研修、ひきこもり家族のつどい 等
- (4) 生活習慣病予防の推進
 - ◆ボランティア・給食施設等指導者向け研修会
 - ◆学校・事業所等への出前講座、ウォーキングイベント
 - ◆味噌汁塩分測定・適塩味噌汁試飲等の適塩キャンペーン
 - ◆飲食店等の栄養成分表示及び「禁煙・分煙の店」登録 等
- (5) 健康危機管理対策の推進
 - ◆感染症予防研修会、鳥インフルエンザや新型インフルエンザの発生に備えた研修・訓練 等

9 地域で支えあう福祉の推進

- (1) 被災した児童、高齢者、障がい者への支援
 - ◆「8(1) 被災住民への健康支援と医療体制の構築」参照(再掲)
- (2) 地域で支える子育て支援
 - ◆要保護児童対策地域協議会の活動支援、子育て支援関係者研修会(10月) 等
- (3) 地域で支える高齢者支援
 - ◆事業者等集団指導(8月)、実地指導(下期)
 - ◆介護予防研修会(久慈、9月)、認知症セミナー(久慈、11月) 「認知症を知り共に支える会議」立ち上げ支援・参画(二戸)
 - ◆久慈地域権利擁護推進委員会、カシオペア権利擁護ネットワーク会議への参画・支援(障がい者の権利擁護についても同様)
 - ◆市町村の地域包括ケアシステム構築への支援
- (4) 障がい者の自立生活支援
 - ◆障がい者自立支援協議会への参画・支援
 - ◆指定障害福祉サービス事業者等講習会(二戸、8月)
 - ◆重度心身障がい児の親子研修会(二戸、11月)
 - ◆カシオペア連邦農業振興プロジェクトとの連携による就労機会拡充 等
- (5) みんなが住みやすいまちづくりの推進
 - ◆ユニバーサルデザイン、ひとにやさしい駐車場制度の普及啓発(電子マップ 施設登録推進、学校のユニバーサルデザイン学習支援 等)

10 良好な環境の保全

- (1) 環境を守り育てる人材の育成と協働の推進
 - ◆シンポジウム、カシオペアフォレストスクール開催、水生生物調査支援等による環境を守り育てる人材の育成
 - ◆講演会開催等、新流域基本計画策定(下期)による森川海連携の推進
 - ◆平庭遠別登山道刈払(6・8月)、平庭遠別登山道協議会活動支援・参画等
- (2) 良好な水環境の確保
 - ◆公共用水域の水質検査(河川：毎月、海域：隔月)
 - ◆水質特定事業場の排水の水質検査
 - ◆浄化槽適正管理の指導
- (3) 廃棄物の適正処理の推進
 - ◆産廃Gメンによる監視指導、スカイパトロール(10月) 等
- (4) 青森県産産業廃棄物不法投棄事案への対応
 - ◆環境モニタリング(年10回)、県産産廃だより発行(年3回)
- (5) 放射線量のモニタリング
 - ◆地表付近及び大気中の放射線量の測定
 - ◆測定結果の公開及び相談対応

11 定住環境の整備と地域コミュニティの活性化

- (1) 交通安全対策の推進
 - ◆(歩道)国道395号久慈市板橋地区他6か所(道路防災施設)国道395号二戸市仁左平地区(堆雪帯設置)他12か所
- (2) 地域の生活環境の整備
 - ◆都市計画道路荒瀬上田面線岩谷橋地区整備
- (3) 地域コミュニティの活性化
 - ◆北三陸じえし会：東京 中野にぎわいフェスタ出展(10月)、地域を好きになるショートツアー(下期)
 - ◆カシオペア若者交流事業：マーベキュー(8月)、第2回交流会(下期)
 - ◆カシオペアFMへの若者の出演(週1回10分) 等

12 若者・女性の活躍支援

- (1) 地域の魅力づくり・発信の促進
 - ◆魅力づくり活動支援：「11(3) 地域コミュニティの活性化」参照(再掲)
 - 歴史文化発信支援：九戸政実武将隊のイベント出演、九戸政実フェスタ(8月)、二戸市民文士劇「天を衝く」公演支援(10月)、ホームページによる情報発信
- (2) 子どもの地域への愛着促進
 - ◆「山・川・ゆたかカシオペア体験交流くらぶ」各プログラムメニュー開催 等
- (3) 若者の地元就職・定着支援
 - ◆「久慈地域キャリア教育推進研究会」、「二戸地域就職促進に係る関係機関打合せ会」を設立し地域ぐるみのキャリア教育推進体制を強化
 - ◆高校卒業予定者対象求人説明会(久慈、7月)、カシオペアしごとフェア(7月)等による若年者等の就業支援
 - ◆フレッシュズカフェ in 久慈琥珀(6月)、定着支援セミナー・交流会(二戸)(下期)による新規学卒者定着支援
- (4) 魅力ある企業の育成
 - ◆「6(3) 地域の特徴的な産業の振興」参照(再掲)

13 国体の推進

- (1) 国体普及啓発の推進
 - ◆合庁看板等掲出(二戸：10月、久慈：12月)、公用車マグネットシート貼付(8月～)、国体マップ作成(2月) 等
- (2) 受け入れ体制の強化
 - ◆カシオペア連邦おもてなし講座(下期)、希望郷いわて国体おもてなし研修会(下期)
 - ◆冬季大会スケート(ショートトラック)競技における郷土食お振る舞い(1月)
- (3) デモンストレーションスポーツ体験会
 - ◆サーフィン(7-8月)、パークゴルフ(9月)、ウォークラリー(11月)

14 被災者相談支援センター

- (1) 被災者相談支援(生活不安の解消)
 - ◆久慈地区被災者相談支援センターの運営、専門家相談(弁護士、司法書士、土地家屋調査士、建築士、ファイナンシャルプランナー)
- (2) 関係機関との連携・情報共有の推進
 - ◆久慈地区被災者相談支援連絡会(9月)、支援者等向け住宅再建セミナー(11-12月)
- (3) 情報発信の強化
 - ◆被災者相談支援センターだより(隔月)、復興の現場見学会(10月)、全世帯配布広報誌「北いわて復興最前線」発行(3月)

15 北いわて情報発信

- (1) 圏域内の住民への情報発信の強化
 - ◆全世帯配布広報誌「北いわて最前線」発行(12月)、管内タウン誌「ダ・なす」への掲載(毎月)
- (2) 圏域外での北いわての認知度向上
 - ◆三陸復興 facebook、イーハトーブログ掲載、定例懇談会による報道機関への情報提供(毎月)

※ 実施時期の記載がないものは、年間を通しての取組である。